【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公開番号】特開2001-128709(P2001-128709A)
【公開日】平成13年5月15日(2001.5.15)
【出願番号】特願平11-352136
【国際特許分類】
Ａ４３Ｂ　23/10　(2006.01)
Ａ４３Ｂ　 3/00　(2006.01)
Ａ４３Ｂ　23/02　(2006.01)
Ａ４３Ｂ　23/17　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４３Ｂ　23/10
Ａ４３Ｂ　 3/00　１０１
Ａ４３Ｂ　23/02　１０２
Ａ４３Ｂ　23/17

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月2日(2006.11.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
なお先芯４に設ける欠除部４Ｄは、この部分に皺の原因となる吊り込みの際の折畳み部が納まる程度の隙間を想定して設けることができる。
又本発明に用いる先芯４は、一般的に用いられているものと同様、合成樹脂、ＦＲＰ、各種金属の材料からなるものが使用でき、上記欠除部４Ｄはこれらの材料を用いて先芯４を成形する際に同時に形成させることが望ましい。